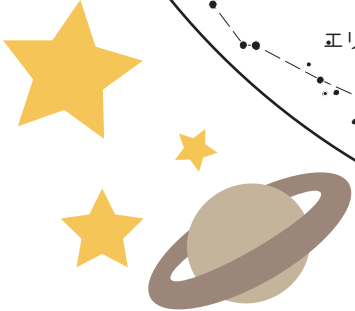
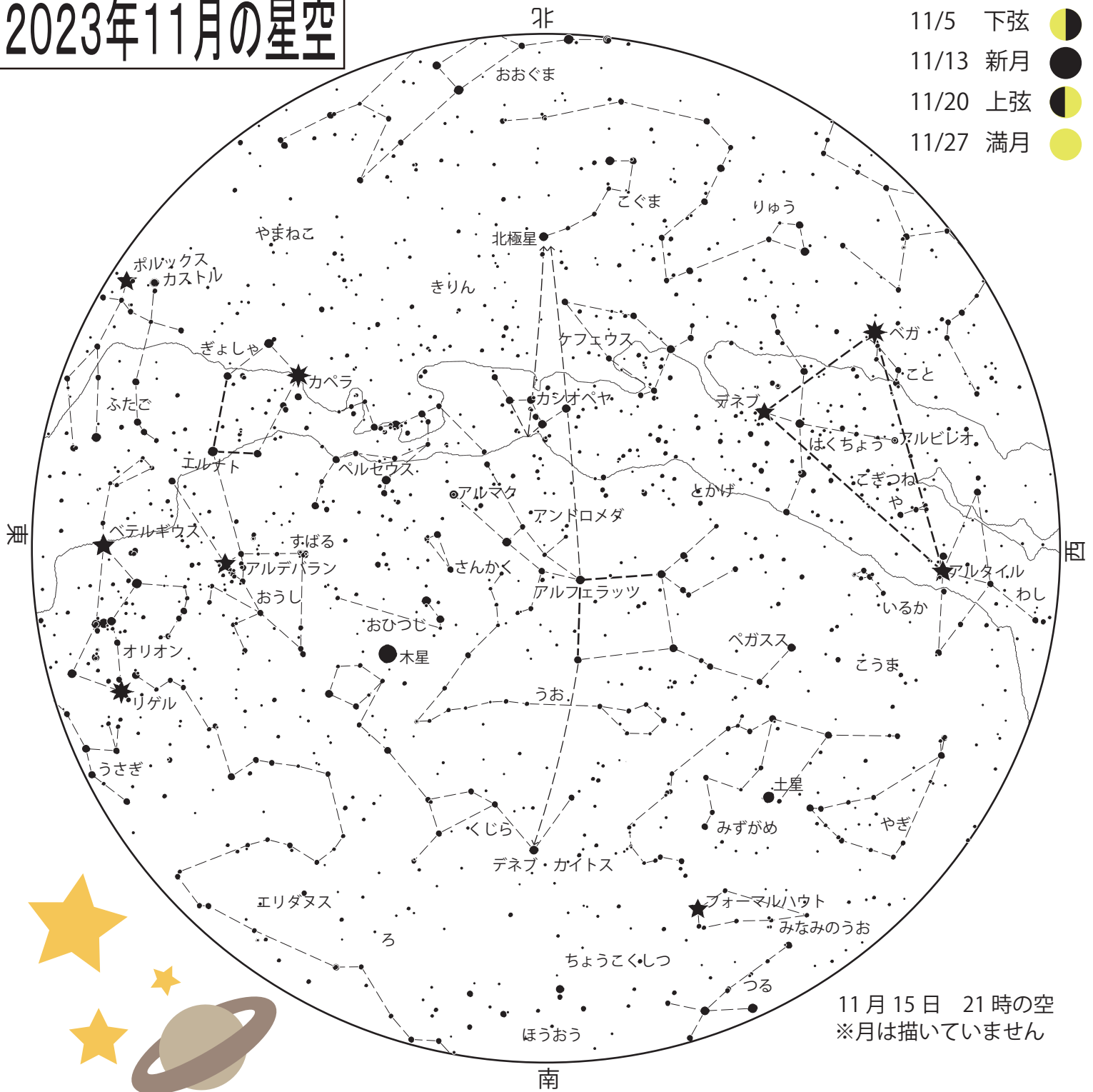


姫路で見る 2023年11月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 11/5 下弦 
- 11/13 新月 
- 11/20 上弦 
- 11/27 満月 



11月15日 21時の空
※月は描いていません

西の空を見上げればまだ「夏の大三角」が見えています。夏という名前ではありますが、年末ごろまで見ることができますよ。

秋の夜空の目印は、天高く翔けるペガサスの胴体「秋の四辺形」です。秋の夜空はペガススも出てくる「古代エチオピア王家物語」の登場人物たちに彩られていて、秋の四辺形を頼りに探すことができます。北の空には王様・ケフェウス座、W字の星の並びが特徴的な王妃・カシオペヤ座があります。秋の四辺形やカシオペヤ座からは北極星を探することもできます。ペガサスのおへそにあたる星アルフェラッツから北東へ、A字に並んだ星の並びはお姫様・アンドロメダ座で、その先に勇者・ペルセウス座がいます。四辺形の東側の辺を南へ伸ばすと、怪物・くじら座のしっぽの星デネブ・カイトスです。

東の空には冬の星座も顔をのぞかせています。おうし座のすばるや赤く輝く1等星アルデバラン、北東の空にはぎょしゃ座の1等星カペラも輝いています。

土星は南西の空、木星が東の空高い所で見頃を迎えています。